氏名	衣 笠 信 行
授与した学位	博　　士
専攻分野の名称	医　　学
学位授与番号	博乙第 3471号
学位授与の日付	平成12年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Expression of membrane cofactor protein(MCP, CD46) in human liver diseases (肝疾患におけるメンブレンコファクタープロテイン(MCP, CD46)の発現について)
論文審査委員	教授 原田 実根　教授 田中 紀章　教授 中山 睿一

学位論文内容の要旨

メンブレンコファクタープロテイン(MCP,CD46)は補体制御蛋白の一つでヒトの臓器に広く分布しており補体依存性細胞障害から細胞を保護している。我々は肝疾患におけるMCPの分布と発現強度について分析し肝発癌におけるMCPの役割を調べた。肝細胞癌 (HCC)27例、肝硬変 (LC)18例、慢性肝炎 (CH) 9 例、正常肝12例におけるウエスタンブロットで解析したMCPの相対濃度は、それぞれ 0.63±0.23、0.21±0.07、0.25±0.10、0.11±0.03 (mean±SD) であり、肝細胞癌におけるMCP発現量は肝硬変、慢性肝炎どちらの発現量より有意に高値であった。腫瘍サイズ、組織分化度、ウイルスマーカーは発現量に影響を与えなかった。免疫組織学的検査ではMCPは主に非癌部肝細胞索の類洞側や内皮細胞、胆管細胞に分布していた。肝細胞癌ではMCP蛋白は均一に細胞膜上に認められた。これらのデーターから肝細胞癌はその発達過程でMCPの発現量を増し、腫瘍特異的補体依存性細胞障害から逃れている可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、補体制御蛋白のひとつであるメンブレンコファクタープロテイン (MCP, CO46) の発現を肝疾患について検討し、肝細胞癌における、MCP の発現量が肝硬変、慢性肝、正常肝より有意に高く、またその発現局在も異なることを明らかにし、MCP が肝細胞癌の発育過程に密接に関与していることを示唆する重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。